

## 鈴鹿の風 中西 大輔 議員

### 負担見直しのあり方について

(質問) ごみ処理アンケートに有料化の設問があったが考えは。公共料金などの負担見直しには、財政状況の共通資料を作成すべきである。所管部署が事業内容とコスト情報、業務改善や収支改善の取り組みを公開すべきである。アンケートの結果など情報を一元的に集めるべきでは。

(答弁) ごみ処理有料化は現時点で行わない。

過去からの財政の推移や今後の見通しなどを、共通した資料で分かりやすく情報を提供できるよう取り組む。事業所管課は、事業効果を上げるための取り組みや経費節減につながる取り組み・事業の課題などを説明し、理解をいただくことに努めている。今回の提案を踏まえ、共有すべき情報は、積極的に庁内ネットワークを活用するよう周知を行う。

その他の質問 ○休館対応と中学部活の改善について

## 無所属 中村 浩 議員

### 北長太川の整備についてパート5

(質問) 北長太川の護岸工事について、第1期工事区間が500mあるが、平成29年度時点における工事の進捗状況は。

(答弁) 北長太川の護岸工事については、平成17年度より整備を進めており、コンクリート製ブロック積み工法により整備し、家屋などが近接している箇所では、施工性や工事影響を考慮し、

鋼製矢板を使用した矢板工法により整備を行っている。

第1期区間の進捗状況は、河川改修に必要な事業用地の取得が昨年度末において全て完了しており、河川両護岸の延長進捗を平均して、約56.3%の護岸整備率となっている。

準用河川改修事業に関する交付金については、大幅な増額が見込めない状況ではあるが、長太地区の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら、一つ一つ着実に前へ進めていく。

## 緑風会 藪田 啓介 議員

### 引きこもり(ニート)就労支援について

(質問) 不登校から引きこもりになった方や、本市で推計945名みえる15歳から34歳の非労働者、いわゆるニートの方の相談窓口と支援はどうなっているのか。また、障害者手帳がなくても福祉サービスを利用できるが、本市の農福連携事業において、ニートの方へ支援はできないのか。

(答弁) 中学校卒業後、不登校から引きこもりになった方に対し、元担任が家庭訪問などにより継続的に進路指導を行っている事例もあるが、卒業後の子どもたちの状況把握は困難である。

相談窓口は、障害者総合相談支援センター「あい」があり、個別面談、外へ出ることへの意識付け、ひきこもり家族会「すずらん」への紹介などを行っている。

障がい者就労農福連携事業での引きこもりの方への支援については、状況やニーズを把握しながら自立支援や就労支援につなげていきたい。

## 自由民主党 鈴鹿市議団 森 喜代造 議員

### 障がい児支援について

(質問) 児童発達障がい児支援について。

(答弁) 療育の必要がある就学前の児童の支援事業所は、市内に11カ所ある。本市の療育センターでは、発達に心配のある児童に言葉の発達などの検査を行うことにより、的確な早期支援ができるよう、言語聴覚士や臨床心理士などの専門職員を配置し、県の機関と連携を図りなが

ら早期からの支援に努めている。

また、窓口の一元化については、現在、相談担当課の職員が手続窓口へ同行しているが、今後は窓口の一元化についても課題を整理し、検討したい。

また、発達相談の件数が年々増加するなど、相談内容も多様化、深刻化し、対応にますます専門性が必要とされている。本市を管轄する北勢児童相談所の相談も増加しており、今後、さらに複雑化することが予想されるため、設置主体の三重県に対して、本市への児童相談所の設置を強く要望したい。